

発 言 通 告 書 <総括表>

平成18年 第3回 定例会 一般質問

発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
1 小枝議員	1, 千代田区の公共建築設計に公募性プロポーザルと顕名制度を採用し、建築文化を発信してはどうか。 2、神田川水上バスと親水公園の実現を。 3、千代田区ならではの国際貢献の一策について。	海外留学生寄宿舍の提供	区長並びに関係理事者
2 松本議員	次世代育成支援事業「子育てナビゲーター」設置の実態と課題について 若い世代が生まれ育ち住み続けられる町にするためのファミリータイプマンションの導入について	子育て支援の全体的な視野に立ち、それぞれの子どもに見合ったプランを立て、サポートするサービスが提供できるか ナビゲーターは、適切なアドバイスを出すため、どのような資質をもって、任に当たるのかについておたずねしたい 20代～40代人々の間には、生まれ育った所で住み続け、自分達の次の世代も住み続けられる町であってほしいという大きな要望がある ワンルームマンションが乱立する中でファミリータイプマンション住居の区内供給を促すには、どのような助成や支援が考えられているかをおたずねしたい	区長並びに関係理事者
3 寺沢議員	食を通して生涯健康な生活を送るために ー 食育推進基本法をうけて ー	栄養教師の配置 山村留学への情報提供 幼・少・中保護者への食と健康に関する意識啓発 給食の残滓を利用した循環型仕組みづくり 団塊の世代への系統だてた食の情報提供と実践	区長、ならびに関係理事者
4 林議員	若い世代にも 誕生月健診を受けさせて どうして40歳以下の年代は 毎年、健康診査を 受けられないの？ 今後のアライアンスについて	千代田区の評「誕生月健診」について 40歳以上となっている根拠とは何か？ 若年節目健康診査の受診率が低い理由は？ 毎年の受診でないからが理由でないのか… 予防医療について 若い世代にも予防医療を理解してもらうためには？ ドクター・ショッピングについて 患者にとっても医師にとっても理想の医療とは？ かかりつけ医の位置づけについて 自己責任の健康づくりとは？ 歯科健診について 現在3ヶ月の健診を誕生月健診にできないか？ 中長期的な福祉サービスについて 今後の方向性をどう考えるのか？	区長並びに関係理事者
5 木村議員	1図書館など社会教育施設への指定管理者制度でサービスはどう変わるか 2新庁舎建設について 3、住環境をどう守るか	専門性、サービスの有料化、運営に対する住民参加システムなどいくつかの角度から、指定管理者制度の導入で住民サービスはどう変わるのかを質問する。 フリーアドレスを導入した民間企業は一部を除き、ほとんどがとりやめている。その方式を新庁舎にあえて導入する理由は何か。住民にどのようなメリットがあるのか。 地方分権の流れの強まりと、景観・環境に対する国民的関心の高まりのなかで、住環境を守るためより実効性あるルールづくりをすすめている自治体がうまれている。そうした先進自治体の取り組みにも学びながら、開発事業者に「住民合意」を求めることなど、あらたなルールを提案する。	区長、教育長、関係理事者

	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
6	鈴木議員	行財政改革問題について 2007年度(平成19年度)の予算編成方針について 東京二十三区清掃事業問題について	「行政改革推進法」「市場化テスト法」「骨太方針2006」について、区長の見解を求め、自治体とは、どうあるべきか、今後の自治体のあり方を問う。 助役依命通達と予算編成の取り組みについて問う。 清掃一部事務組合による廃プラスチック焼却と「サーマルリサイクル」事業、及び合弁会社設立に関して問う。	区長、助役ならびに係理事者
7	小林たかや議員	1. まちづくりを進めるにあたって千代田区の総合調整者の立場と役割について 2. パソコンの管理とサポート体制について	区が役割を果たせなかった事例にどう学び対処するのか。秋葉原のエキパデッキ・エキパブリッジの設置経緯について 新庁舎に千代田区全体の立体模型(500分の1)作製について コンピュータシミュレーションによるまちづくり手法の確立について 区内学校の私物パソコンから個人情報が流出たとされていることに対し、100パーセント否定出来ない状況について、個人情報管理に関する扱いを区としてどのように認識し、今後どう対処していくつもりか。 学校、幼稚園におけるパソコンの管理体制・サポート体制は、どうなっているか。 全長LANにつながっていないとはいえ、教育委員会が運営する学校LANや幼稚園のパソコンウイルス対策は、どうなっているのか。 今後一元管理しない状況で危険性はないのか。 ファイル交換ソフト「ウィニー」によるウイルス感染事故が多発しているが役所の出先機関、学校、幼稚園等の職員が個人情報を家に持ち帰る等の危険性に対してどのような対策を行っているのか。 区民を対象に、パソコントラブル対応のレスキュー窓口を開設してはどうか。	区長並びに係理事者
8	山田議員	御茶ノ水、飯田橋駅周辺整備を民間活力による新手法導入について	基本的な考え方と目的は 英国流といわれる手法の導入について ・どのような手法を考えられているのか ・民間事業者とは、どのように想定しているのか まちづくりや整備は地域が主体となるべきだが ・地域の特性や住民の意見等はどのように反映されるのか ・事業者・住民・行政の連携・調整はどのように行われるのか 千代田区の各地区計画における地域住民の意見の反映や進行管理にも同様な手法の活用は可能か	区長並びに係理事者
9	小林やすお議員	区内3交番の整理・統合について アレルギー対応の長期保存備蓄食料について 幼児施設への小児対応AEDの配備について	区民の安心・安全に資する為、整理・統合される区内3交番、永田町・竹橋・末広町交番を有効活用し区民の不安をふっしょくすべきである 新潟中越地震の経験から、避難所では入手困難な病人食・アレルギー対応食品の備蓄の必要性が謳われている 現在、区内及び全国的に配備をされている、AEDは概ね8歳以下、体重25キロ以下の小児には使用禁止であったが、一部メーカーより小児用AEDパットが発売され、保育園等の幼児施設への配備が可能となった。	区長並びに係理事者